



防災講演会アンケート結果のご紹介およびご回答

令和5年9月4日に行われた防災講演会におきましては、皆様お忙しい中のご出席ありがとうございました。

皆様から頂いた貴重なご意見等を、一部にはなりますがご紹介したいと思います。

☆感想・ご意見等☆

◇ご近所の方とのコミュニケーションがとても大切なことがよくわかりました。

◇人とのつながりが大切ですね。家の周りには高齢者がたくさんいますが、知っている人には声をかけています。

◇関東大震災から100年。ここ数日不安が増す毎日でしたが人との繋がり等、本日のお話を参考にして日々の備えに心がけます。

◇池上先生のお話で改めて関東大震災から100年の再確認ができました。

◇災害は忘れたころに・・・と言われます。本日の講義はその認識を改めることができました。

☆次回防災講演会を行うとしたらどんな内容に興味がありますか☆

◇火災関係はよく研修会があるので、地震関係の特に家具の転倒防止対策、避難時の持ち物など何度も聞きたい。

◇大震災後、富士山の噴火による火山灰の処理をどのように考えているのか教えてほしい。

◇防災意識の向上はかなり進んでいると思いますが、家の耐震化が進んだ今、自宅にとどまる在り方の講義を聞きたい。

◇震災と防犯、震災時（後）のペット同伴避難について知りたい。

◇自宅にいる時に地震にあったら、仕事に向かう道や電車内、駅の中で地震にあったら・・・
建物の中から外に出たほうが良いのか？

◇先日NHKで放送した8K版関東大震災の内容は改めてダイジェストで上映を含め講演会としてほしい。

◇デマ対策、災害関連死、避難所の実態・豊島区西部の設置所シュミレーション。

◇台風・大雨・洪水対策等。





☆質問へのご回答☆

Q1. 死者・行方不明者 約10万5000人

死者 約10万3000人

どちらが正しい数でしょうか？

A. 1923(大正12)年9月1日11時58分ごろ発生した関東大震災の被害については、死者・行方不明者 約10万5000人(うち、死者約10万3000人)となっています。

Q2. 大災害で亡くなった場合、火葬はどのようになるのか。

火葬場がいっぱいになると想像されます。

A. 震災時の火葬につきましては、

豊島区地域防災計画 震災対策編 第2部 災害応急対策計画 第15章 遺体の取り扱い

から詳細がご覧いただけます。

ご不明点につきましては、豊島区防災危機管理課(03-4566-2572)までお問合せ下さい。

Q3. 耐震ブレーカーの町内配布をお願いしたいです

A. 豊島区では感震ブレーカー(通電火災防止装置)を木造住宅密集地域に対し無償配布しています。

感震ブレーカーの購入費助成や感震ブレーカー(簡易タイプ)の無償配布を希望する場合は、HPをご覧ください。ご不明点につきましては豊島区防災危機管理課(03-4566-2572)までお問い合わせください。

～皆様、貴重なご意見等ありがとうございました～

